

02 対談特集

「ピアノを仕事に」

2014年度
ピアノ指導者コース新設!

出戸 由記子教授
岡原 慎也教授

04 音楽と生きる

竹本 節子さん(声楽家)
谷 正人さん(音楽学者)

「ミレニアム
ホール」では
毎日のように
演奏会があるよ!

「ばうぜ」は
みんなの
憩いの場

キャンパスは
音楽を学ぶ学生で
いつもにぎやか!

運転手さん
いつも
ありがとう!

「ザ・カレッジ・
オペラハウス」の
舞台は
大音生の憧れ!

博物館は
いつも
ワクワク!

CONTENTS

08 PICK UP!
ピーター・
グライムズ

09 大学生リアル
社会人学生編

10 キラリ★輝く
大音の星
・コンクール受賞 他

11 NEWS Index
・研究室訪問
・Daion Report
・大音生なら必ず聴き
たい「100曲」中村孝義
(音楽学・理事長) 他

14 演奏会
Information
9月～12月

15 CAMPUS
Information

16 ・下手の考え
休むに似たり
～学長日記～
・教員リレーエッセイ
米山 信
(ピアノ・教授)

「ピアノを仕事に」 自分の 将来の姿 を描こう

2014年度より
大阪音楽大学ピアノ専攻に
「ピアノ指導者コース」が新設されます。
構想2年。練り上げられたカリキュラムと、
おそらく音楽大学では初となる
グレード※取得のための
レッスンや授業について
コースチーフの出戸由記子教授と
コース新設にあたって尽力した
岡原慎也教授に伺いました。

**出戸
由記子** 教授

と ゆきこ
華頂女子高等学校音楽科を経て東京芸術大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。20回に及ぶソリスト・リサイタルをはじめ、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、モーツァルト室内管弦楽団、テレマン室内オーケストラなどとのピアノ協奏曲の共演多数。その他ヤマハサロンコンサートや室内楽、2台のピアノアンサンブルによる演奏会、コンクール審査員やコンサートのプロデュース、公開レッスンなど幅広く活躍。

**岡原
慎也** 教授

おかはら しんや
全日本学生音楽コンクール中学生の部全国第1位。東京芸術大学音楽学部付属高校を経て東京芸術大学に入学。在学中より演奏活動を始める。卒業後ドイツに留学。ベルリン芸術大学、ミュンヘン音楽大学マスタークラスにおいて研鑽を積む。ソリスト、歌曲のパートナー、室内楽奏者として幅広く活動。また、06年チェコにて指揮者としてデビュー。93年京都音楽賞、96年大阪文化祭賞本賞、01年音楽クリティッククラブ賞受賞。11年文化庁芸術祭優秀賞受賞。

「ピアノ指導者として 仕事をしたい人へ」

——特徴は？

岡原 本学では初めて「資格」と「就職」を前面に打ち出したコースと言えます。この不景気の世の中にあつて、音楽というものがなかなか仕事に結びつかないというイメージを多くの方がお持ちだと思えます。このコースはグレードを取得することを目標に、効率的に勉強し、音楽教室で、また自宅で個人的に「ピアノ教師」になることを目指すことができます。「自分の将来の姿をより明確に想像しながら勉強できることが特徴的です。」

出戸 ピアノをしている方の中には「将来ピアノの先生になりたい」と思っている方が多いと思います。もちろん既存のピアノ専攻にも「ピアノ教授法」という授業もありますし、ピアノ指導者を目指すことは充分できます。しかしこの「ピアノ指導者コース」では、ピアノ教師として必要なあらゆる要素を学ぶことができるカリキュラムを整えています。在学中に「ピアノ演奏グレード」「指導グレード」共に4級以上の取得を目指します。実際、大阪音楽大学にはグレードの試験官をしている教員もいますので、具体的な試験対策の指導が可能なのです。

すべてが ここで学べる

——具体的に授業の内容は？

岡原 「ピアノ指導法」では、例えば「教材の研究」「さまざまな年齢の幼児児童の発達に応じた指導の方法」「グループレッスンの方法」など、現場に出た時に勉強してきたことを即戦力として生かせるよう、インターンシップも行い、実際に子どもたちと触れ合える実習も行います。

出戸 「音楽理論」は「ピアノ指導者コース」専門のクラスを開設します。一般的な楽典に加えて、コード進行法の理論などを学びます。さらに「指導者基礎演習」では、グレード試験項目に即した音楽理論の理解とソルフェージュ能力を高める指導を行います。また「即興演奏」「初見試奏」「移調奏」などの科目や「ピアノ実技」の授業でもグレード取得に直結した内容で、ピアノ指導者としての必要な能力を身に付けることができます。ここまで「指導者育成」に特化した内容を学べるコースは全国でもここだけですよね？

岡原 はい。ピアノ指導者を目指す多くの人は音楽大学を卒業後、なんらか

の形で自分でセミナーを受講したり、研修を受けていらっしゃると思います。そうなる卒業してから勉強の時間が必要ですし、もちろんその分の費用も余分にかかる。これを在学中に学べるというのは非常に効率的だと言えますね。

出戸 音大生はみんな卒業したらずぐ先生になれると思いがちですが、実はそんなに簡単ではないんです。今は子どもも少なくなってきましたし、自宅で教えるように思っても生徒を集めるのは大変。「音楽教室運営法」という授業では、音楽教室を始めるために必要な事柄について知識を深め、研究します。演奏技術や運営管理はもちろん必要ですが、さまざまな年齢層の生徒さんに対応できるコミュニケーション能力が実はとても大切。このあたりは、本当なら実際現場に出てみてやっとなら分かることなのかもしれませんね。

子どもたちに 憧れてもらえる指導者に

——「ピアノ指導者コース」入学を目指す方へメッセージを。

岡原 大阪音楽大学に入学される方はもちろん音楽が大好きで、音楽を学びたいという気持ちを持っていると思います。でも、入学前からぜひ将来の自分の道を想像してみてください。入学した



2014年度 ピアノ指導者コース開設



卒業後に「ピアノ指導者」を目指すことに特化した「ピアノ指導者コース」が誕生します。「グレード取得」「即戦力を養うスキル」「指導者としてのノウハウ」を修得することを目標に、社会の求める有能な人材を養成します。受験方法などについての詳細は大阪音楽大学HPをご覧ください。

※ヤマハ音楽振興会の実施する音楽能力検定など

歌が私を 救ってくれました



関西が私を 育ててくれました

現在は東京都目黒区在住。東京二期会に所属し、新国立劇場のオペラに出演させていただいたり、また在京オーケストラの定期演奏会で声楽作品や宗教曲を数多くレコーディングしています。大学卒業後、関西二期会で「カルメン」を演じ、

ザ・カレッジ・オペラハウスこけら落とし公演「ファルスタップ」で大きな役をいただく等、素晴らしい経験をさせていただき20代を過ごしました。ある年には、音楽雑誌の「第九」ランキングで、プロオケでのアルトソロ公演数全国2位になったことも。

卒業後、大学在学中にお世話になった先生方が、まだ芽が出るか

竹本 節子

声楽家

時期は眼球以外に全く自力で体を動かせない状態となり、息を吸うだけで激痛が走るほどに。「もう二度とは歌えないかもしれない」そう思うと今まで歌ったことのある曲が頭に流れ「歌いたい」というこれまでにはないほど強い気持ちが湧いてくるのが分かりました。家族に送迎してもらい、ほんの30分だけ声を出す初歩的なレッスンを受けました。回数を重ねていくと……どうでしょう！それまで痛みで固まっていた体が少しずつ和らいでいきます。体の筋肉をほとんど失っていたので立つだけで精一杯。力を入れられないからこそ、歌うための支えを本能的に掴んでゆき、それまで出なかった高音や弱音を出せるようになったのです。体の自由を失うことによって「歌うための本当に必要な力」を発見した不思議な体験でした。

人の心に寄り添うことのできる人間でなければ、歌なんか歌えないと思います。なぜなら、作曲家が命を削って書いた楽譜には喜怒哀楽があり、音楽は何を言わんとしているのかを想像力で読み込んでいく必要があるからです。技術的な勉強だけでなく、さまざまな経験をを通して人の心が分かる音楽家でなければ、何を表現できるというのでしょうか。

大音生は卒業後も深い絆で結ばれています。新国立劇場のオペラ公演では、晴さん(本学准教授)に大いに盛り立てていただき、支えられてきました。バス歌手の松位浩さん(独・ザールブリュッケン歌劇場首席バス歌手、本学客員教授)、斉藤美穂さん(舞台監督)とR・ヴァーグナー「さまよえるオランダ人」で共演したことは素晴らしい思い出となっています。第一線で活躍しておられる方々は思いやりも絶大です。

東京で大音関係者が目覚ましい活躍をしているということ、また信頼されていることは音楽界で高く認識されてきました。本当に誇らしいことです。卒業後30年経っても、大音の先生方、先輩方がいつも気にかけてくださり、応援して下さっているおかげ、と心から感謝しております。そして私もそうありたいと願っています。

95年、サントリホールで朝比奈隆指揮G・マラー「復活」を歌ったのが東京デビュー。当時は「東京にはないタイプだね」と言われました。今でも頭の中では関西弁の節回しで歌っています。特に外国人指揮者や演出家に気に入っていただけることが多く、関西の明るく前向きな表現は世界に通用するのだと信じています。

音楽家は 「人の心に寄り添える人」

阪神大震災のあと、神戸の実家で後片付けをしていた時に、無理をして頸椎の椎間板ヘルニアを患いました。数カ月で全身が麻痺して、一

音楽家は「音楽だけやっていればいい」とは、私は思いません。まず、基本的に「素敵な人」であってほしい。周りの人に優しくできる思いやり。一緒に喜んだり悲しんだり……。相手の立場に立って考える、そんな

復活



▲R.シュトラウス「アラベラ」
でのアデライデ役
(新国立劇場)2010年



▲G.ドニゼッティ「ルチア」アリーサー役
(新国立劇場)2002年



●たけもと せつこ
1983年大阪音楽大学声楽学科卒。「シンデレラ」「サムソンとデリラ」「カルメン」などのタイトルロールをはじめ、二期会、新国立劇場等で優れた歌唱と確かな演技力でメゾ・ソプラノ、アルトの数々の役を演じ、第一線で活躍中。大阪音楽大学客員教授。

研究者として 生きていく決意

知識と演奏能力を 確立する

研究対象であるイラン音楽はまだまだ日本ではマイナーなため、少し前までは「イランの音楽を演奏していません」と言ってもなかなか理解されにくく、「あやししい人じゃないか」と誤解されるような場面もありました。「どうして髭生やささないんですか?」とかね(笑)。インド音楽とごっちゃになっている人もいましたし、そもそもイランという国がどこにあるか知らない人もいます。そして、そうしたあやしさを商売にしている人たちもいます。しかし私は、研究者としてそうした態度とはきっぱり縁を切りたいと思っています。そこで、私がまずし

の終止感があること、言語化されない規則に沿った即興演奏の技法など。「え? これで曲が終わる?」と思うような不思議な終止感を知った時は、これまでの常識を覆される思いでした。しかし、現地の人にとってはそれが当たり前として認知されているなぜだろう? 全くわからない。でも「これを分らないままにしているは意味がない!」と思ったのです。この音楽をもっと知りたい。その一心で2年生の時から毎年夏休みや春休みは何度もイランに通うようになり、現地でレッスンに通い詰めました。卒業後には本格的に滞在したいと思う気持ちが強くなり、留学を決意。言葉・文化や制度上の壁もありましたが、イラン音楽への情熱で実現させてしまいました。

音楽を勉強して その先に何ががあるか

留学中には「演奏家としてやっていきたい」と思っていた時期もありました。でもそんな時、西岡信雄先生(大阪音楽大学名誉教授・元大阪音楽大学理事長・学長)にこう言われたんです。「もし同じ日に谷君の演奏会とイランから来た人の演奏会があったらお客さんはどっちに行くと思う? 君がどんなにうまくても、逆にそ

正人

谷

音楽学者

なければならぬと感じたのは、演奏内容の解説、楽器の説明などをはじめ、音楽の背景やそれを生んだ文化についてきちんと説明することです。そのためにはどうしても研究が必要で、民族音楽を「あやししい」ままにしておくのはどうしても本意でした。だから、皆さんがクラシックを勉強するのと同じように、私も深く研究して「知識と演奏能力の両方を確立すること」が在学中からの目標になりました。

分らないことは どうしても知りたい!

小学2年生の時、好きだった女の子がオルガンを習っていたので「なん

とかお近づきになりたい!」という一心でピアノを始めました。なんとも不純な動機(笑)。でも気がついてみたら夢中になっていました。その後、中学の時に出会ったヘヴィメタルに使われていた民族音楽の要素が魅力的に聴こえて、クラシック音楽と同時に民族音楽にも興味を持ち始めました。進路を考え始めた高校生の頃には、もはや音楽以外の進路は考えられなくなっていました。民族音楽を勉強できる大学はないかと探していたところ、大音には楽理専攻(現・音楽学専攻)があり民族楽器の授業が受けられることを知ったのです。

大学に入学してからは、まず「食わず嫌いはなくそう」と民族音楽に関するあらゆる授業に顔を出しました。当時の楽理専攻は、イランの音楽をはじめバリのガムラン、インドの古典音楽、日本の雅楽を学べる授業があり、とにかくいろいろと体験してみることができました。その中から好きだなと思えたものが、続けていけそうだと直感したのがイランの楽器「サントゥール」だったのです。

サントゥールという楽器は、その音色の美しさもさることながら、これまで自分が親しんでいた西洋音楽とは全く違うイラン音楽独自の特徴があります。例えば微分音(半音よりさらに細かい音程)を用いること、独特



のイラン人がどんなに下手でもそれは関係ない。理不尽だと思ってもそれは関係ない。現在の民族音楽のマーケットはそういうものだ。それを受け止めていかなくてははいけない」と。ただ「研究者」であれば、必ずしも現地の人でなくてもできることがある、と先生は言われたのです。当初はかなり反発しました(笑)。でも確かに民族音楽に関わっていくなら研究者としての顔も必要です。でないとしたあやししいおじさんになってしまいます(笑)。その決意したのはすでに20代後半でしたから、今思えば家族は心配していたかもしれないですね。

それからは大阪大学大学院で博士号を取得し、現在は大学の教員としての職を得ましたので演奏活動中心とはいきませんが、今のポジションの方が僕には合っているように思いま

す。私にとつて研究と演奏は切り離せないものです。研究というバックグラウンドを持っているからこそ、演奏の方でも「あやしさを売りにした音楽はやりません!」とポリシーを貫けるのです。

「音楽大学で勉強して上手になつた。ではそこから先、どう社会の要請と結びつけていくのか」というテーマで学生の皆さんにはよく話をします。うまくなったからといって、必ずしも自然に将来の道が開けるわけではないことを肝に銘じてほしい。自分の将来のためにも、自身の能力を生かせる道をぜひ学生時代から真剣に考えてほしいと思っています。

谷正人さんの著書

著書に「イラン音楽一声の文化と即興」(青土社2007年) 第25回田邊尚雄賞を受賞



●たに まさと
1995年大阪音楽大学音楽学部音楽学専攻およびイラン国立芸術大学(サントゥール)卒業。京都市立芸術大学大学院修士課程および大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了(音楽学)。98年第1回イラン学生音楽コンクールサントゥール独奏部門奨励賞受賞。現在、大阪音楽大学非常勤講師、神戸大学大学院人間発達環境学研究科准教授。



▲イラン留学中に同級生たちと教室にて



▲「民族音楽演奏演習」授業にてサントゥールのレッスン



創立100周年記念プロジェクト 20世紀オペラ・シリーズ G.クラブ原作 / M.スレイダー台本 / B.プリテン作曲

漁村を舞台に孤独と社会問題をテーマにした英国オペラ

「ピーター・グライムズ」

平成25年度文化庁芸術祭参加公演

指揮者・演出家・制作統括3人が語る見どころ聴きどころ

記念すべき年に大迫力のオペラを

指揮 高関 健



50人もの合唱が歌いながら舞台上を動き回る非常にダイナミックなオペラです。オーケストラも大編成で、迫力ある音作りが特徴。「ピーター・グライムズ」はB.プリテン初期の傑作で、メロディもキレイでとても分かりやすい。異なる調性の和音をあえてぶつける作曲技法は、不協和音を奏でつつもそれによって生まれる響きの美しさが秀逸です。今年はプリテン生誕100年の記念すべき年。それなのに、「ピーター・グライムズ」を上演するのは全国でなんとここ大阪音楽大学だけです。私自身いつかは振ってみたいと思っていた作品なので、個人的にも本当に楽しみ。キャストの皆さんも情熱的で稽古も順調に進んでおり、中村敬一先生の演出により素晴らしい舞台となることは間違いないです。ぜひお見逃しのなきよう、チケットはお早めにお買い求めください(笑)

音のドラマを舞台に描きたい

演出 中村 敬一



人間が人間に追い詰められていく、疎外された者がそこからどう生きていくのか——。B.プリテンの代表作であるこの作品は、作曲家本人の人生にも重なる非常に深い大きなテーマを内在した作品です。自ら背負ってしまった罪をどう処理して生きていくのか。プリテンが書き残した音のドラマを、舞台上で視覚的に表現するのが演出家の仕事。音楽の持つ魅力を最大限に生かして、また視覚を通した時にその音楽の魅力が際立つような舞台を作りたいという心がけています。20世紀に書かれたこの作品は、それ以前の物よりずっと現代的な響きを感じるかもしれません。不協和音が刺激的に思う人も中にはいらっしゃるかもしれませんが、我々の魂を揺さぶる新しい響きとして、きっと皆さんに楽しんでいただけるのではないかと思います。

難しい作品の公演が実現

制作統括 荒田 祐子



特徴としてはまず「20世紀オペラ」であること。文化庁芸術祭大賞を過去2回受賞したのも20世紀オペラでした。今年は作曲家B.プリテンの生誕100周年。プリテンとはまさに20世紀オペラの代表的な作曲家です。大阪音楽大学創立100周年記念公演としてこれは外せないと考え、最も有名な「ピーター・グライムズ」を選びました。しかしながら、とにかく譜面的にも表現的にもとても難しい作品です。大人数で大変重要な役割を果たす合唱を、初めて選抜で学生にも参加してもらうという試みもあり、緻密な練習が可能なオペラハウス公演で実現することができました。最高のキャスト、合唱、オーケストラ、スタッフでの公演をどうぞお楽しみに!!

B・プリテン生誕100年の年に贈る20世紀を代表する大作

大阪音楽大学が「20世紀オペラ・シリーズ」としてこの秋にお贈りするのには、今年生誕100年を迎えるイギリスの作曲家B・プリテンの「ピーター・グライムズ」です。20世紀を代表する大作としてB・プリテンの代表作に挙げられるこの作品を、指揮者にザ・カレッジ・オペラハウスのオペラでは初登場となる高関健氏、演出に本学客員教授の中村敬一氏を迎えてお届けします。

あらすじ

漁師ピーター・グライムズは、徒弟の死に関する裁判にかけられる。村人たちが非難を受ける彼を気にかける、女性教師エン。そんな中、再び新しい徒弟が死んでしまう……。

キャスト



ピーター・グライムズ (小餅谷 哲男)



エレン・オーフォード (平野 雅世)



バルストロード船長 (榎 貴志)



アンティ (西原 綾子)



姪1 (大崎 友美)



姪2 (喜多 ゆり)



ボブ・ハウルス (安川 忠之)



スワロー (山川 大树)



セドリー夫人 (野間 直子)



ホラス・アダムス (谷 浩一郎)



ネッド・キーン (藤村 匡人)



ホブソン (西尾 岳史)



クラブ医師 (岩瀬 昌弘)

Information

第50回オペラ公演
ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団第50回定期演奏会
20世紀オペラ・シリーズ
B.プリテン作曲「ピーター・グライムズ」
プロローグと3幕 原語(英語)上演・字幕付
●公演日
10月12日(土)17:00開演(16:00開場)
10月14日(月・祝)14:00開演(13:00開場)
●入場料
一般7000円、シルバー(65歳以上)6000円、
小・中・高校生3000円
●会場
ザ・カレッジ・オペラハウス
指揮:高関 健 演出:中村 敬一 制作統括:荒田 祐子
●お申し込み・お問い合わせ 大阪音楽大学コンサート・センター 06-6334-2242 <http://daion.ac.jp>

オペラ・ブローカー

「オペラ『ピーター・グライムズ』の見どころ、聴きどころ」

- 日時 2013年9月26日(木)18:00～19:00
- 会場 ザ・カレッジ・オペラハウス1階ロビー
- プレゼンター 高関 健、中村 敬一、荒田 祐子
- 演奏 小餅谷 哲男(ピーター・グライムズ役)、平野 雅世(エレン・オーフォード役)、梁川 夏子(ピアノ)

オペラハウス劇場ツアーを行います!

10月13日(日)13:00～(所用時間約30分)
集合場所:ザ・カレッジ・オペラハウス1Fロビー
※10月12日または14日の公演チケットをお持ちの方に限り
●お申し込み・お問い合わせ は左記
「大阪音楽大学コンサート・センター」へ



AM8:00

朝イチから活動開始です

月に一度開催される「イタミ朝マルシェ」は、会議も朝会議！ 8時に集合して挽きたての珈琲を飲みながら楽しく和やかに会議します。



AM11:15

元気をもらえるレッスン

パワフルな田中由也先生のレッスンにはいつも元気をもらっています。表現力を大切にされた指導で、私の歌もどんどん変わってきたように思います。



PM1:30

気の合う友人とランチ

短大時代の同級生と一緒に「ばうぜ」でランチ。それぞれ人生経験を重ねてきた者同士、世代は違っても話が合うし、良い刺激になります。



AM12:00

もっと弾けるようになりたい！

ピアノを始めたのは大学に入る少し前から。憧れの楽器で、練習もレッスンも本当に楽しい。もっともっと弾けるようになりたい！



PM3:00

豊富な資料が役立つ

主に楽譜を探したり、現在勉強している曲を深く調べるための資料を見るため、図書館にはたびたび立ち寄ります。



PM6:00

やはり家族の協力が不可欠！

お料理も大好き！ でも私が大学生になってからは、家族みんなが協力してくれるようになりました。主人と子どもたちには本当に感謝しています。

私のリアル

地元・伊丹を盛り上げ中！

現在は音楽とピアノのレッスンを中心とした学生生活と街づくりのスタッフとしての仕事、そして家事をこなす日々。街づくり活動の一つとして、毎月「朝マルシェ」を開催しています。地元・伊丹の商店に協力してもらい、朝市を開催。お店だけでなく、音楽演奏や紙芝居など大人から子どもまで楽しめるイベントで、毎回かなりたくさんのお客さまにお越しいただいています。

また、図書館では「ビブリオバトル」というおもしろい取り組みを行っています。これはテーマに沿ったおすすめ本を1人1冊持ち寄り、読みたくなるようなPRができるかを競うもの。地元・伊丹を盛り上げるため、さまざまなイベントや取り組みを考えることは、大学の勉強とはまた別の喜びがあります。



朝マルシェでこだわり野菜を販売する地元の八百屋さん



朝8時のオープンとともに大勢のお客さんにぎわう



熱いトークが繰り広げられた「ビブリオバトル」

大音生リアル ⑤

大音生のライフスタイルなどありのままをご紹介します。

社会人学生 編



ナビゲーター
短専・音楽
村上 有紀子さん

子育てが一段落し、自分の時間を充実させたいと思った時、本格的に音楽を学ぶ環境として大阪音楽大学短期大学部に入学を決意したという村上さん。始めは「自分よりかなり年下の同級生と一緒にやっているだろうか」という不安もあったそうですが、今ではたくさんの友人もでき「音楽を勉強することが楽しくてたまらない！」という彼女の一日を追いかけてみました。

「伊」

丹市民オペラの合唱に参加したことをきっかけに、歌の魅力に目覚めました。それまでは専業主婦として家事と子育てに専念していましたが、「いつか音楽大学で本格的に音楽の勉強をしたい」と思うように。そして家族の協力もあって念願の大阪音楽大学短期大学部に入学することができました。現在は短大を卒業し、短期大学部専攻科で学んでいます。ここ数年、音楽以外に「街づくり」の活動にも加わるようになり、現在は学生・主婦に加えて「特定非営利活動法人いたみタウンセンター」の理事長という3足のわらじを履く生活。すべてが楽しいと頑張りたい！ 欲張りかもしれませんが「とにかくやってみよう」といつも全力投球の私です。

Column

社会人学生を目指す方へ

社会人（ここでは22歳以上とします）の方が大阪音楽大学へ入学を希望する場合、入学前に他大学または短期大学で取得済みの単位を、本学に入学後、本学の授業科目を履修し修得したものとみなすことができます。認定できるのは大学の場合30単位、短期大学部は15単位を超えない範囲です。教養科目などすでに修得した科目の履修を軽減し、より時間を有効に活用することができるこの制度。音楽を学びに大阪音楽大学へ入学するので、大いにこの制度を利用し、専門的な音楽科目を学んでいただくことで充実した音楽大学生活を送っていただけることでしょう。

また、ほかの音楽大学や教育大学（音楽系）を卒業された方には大阪音楽大学音楽専攻科、短期大学（音楽系）を卒業された方には大阪音楽大学短期大学部専攻科で学ぶ方法があります。専門科目のみを1年間で学ぶことができ、特に大学専攻科では修了を条件に教育職員免許状の専修免許を取得することができます（1種免許を取得済、または取得条件を満たしている方）。詳しくは学生支援センターへお越しいただくか、大阪音楽大学HPをご覧ください。



祝! コンクール受賞

各種コンクールで受賞された皆さんの喜びの声をご紹介します

全日本ジュニアクラシック音楽コンクール ピアノ部門大学生の部 銅賞 2013年3月2日(アーク文化ホール)

この賞をいただき、全国大会へ進出して審査員賞をいただきましたのは、ご指導くださいました小杉裕一先生をはじめとする先生方のお陰です。まだまだ未熟者ですが、この受賞に満足することなく、これからも精進していきます。



辻 萌音
(大3・ピアノ)

第15回万里の長城杯国際音楽コンクール 声楽部門一般の部B 第1位、中国駐大阪総領事賞 2013年3月16日(大阪市立城北市民学習センター)

昨年、私の師匠である横田浩和先生がおくなりになり、悲しみに暮れていました。今までいただいた先生の愛とご指導を、何かの形に残したいと願い、今回受けさせていただきました。このような賞をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。



岩淵 真希
(04年・院修・声楽)

第33回来音会ピアノコンクール F級 第3位 2013年3月29日(池田市民文化会館)

本番は緊張もしましたが、自分の感じたことを少しでも伝えたいという気持ちで、思い切った演奏ができたと思います。まだまだ課題もありますが、このような評価をいただいたことは私にとって大きな励みとなりました。



野村 有理
(大4・ピアノ)



▶オーディションの様子

Topics 活躍する在学生&卒業生

川西市アーティストオーディションで 総合優勝! 全員が大音生の「UK BAND」

7月27日に川西市のみつなホールにて行われた「川西市アーティストオーディション」でUK BANDが総合優勝しました。メンバーは全員が大音生。「父親の影響でザ・ビートルズやディープパープルなどイギリスの音楽が大好き。そんなバンドを組みたいと塩谷信廣先生に相談し、学内にメンバー募集のチラシを貼ることに。それがきっかけで集まってきたメンバーはたまたま全員が女性。活動を始めてまだ1年も経っていないのに総合優勝が決まった時は、本当に信じられない気持ちでした(リーダー・増井菜奈さん・短2・ポピュラー)」。

UK BANDは今後1年間、川西市よりサポートを受け、さまざまな場所で演奏活動を行う予定です。

●今後の予定

- 9月27日(金)大阪アメリカ村サンホール
 - 10月4日(金)JR大阪駅 時空の広場
 - 10月12日(土)きんたくんバル(川西市)
 - 10月20日(日)虫の声 音楽のタペ~北陵たそがれコンサート(川西市)
- そのほか続々決定中。最新情報はUK BANDのTwitter(アカウント→@uk_band)をご覧ください。



◀結果発表の瞬間。
メンバー全員で大喜び!

第10回クラリネットアンサンブルコンクール 一般B部門 第2位、協賛三社賞 2013年4月7日(バルテノン多摩)

原田 勝大
(クラリネット四重奏 BeauNoir)(短2・クラリネット)
アンサンブルでのコンクールは初めてだったので、暗く模索の状態で思い通りの演奏にはほど遠い出来でした。でもとても良い経験になったと思います。これを糧にこれからも頑張っていきます。



第10回クラリネットアンサンブルコンクール 一般B部門 第2位、協賛三社賞 2013年4月7日(バルテノン多摩)

仙臺 玲
(クラリネット四重奏 BeauNoir)(短2・クラリネット)
結成して一年。思いきってコンクールに出場し、まさか賞をいただけるとは予想もしていませんでした。メンバーたちとお互いに刺激を受けながらこれからもいい音楽を作っていきたいと思います!



第29回愛知ピアノコンクール 自由曲連弾C部門 銀賞 2013年4月28日(リリオコンサートホール)

本番では、集中して演奏することができました。限られた練習時間の中、結果を残すことができ、嬉しく思います。これからも、精進していきたいと思います。



桃谷 江美
(04年・大卒・ピアノ)

第29回愛知ピアノコンクール 自由曲連弾C部門 銀賞 2013年4月28日(リリオコンサートホール)

今回演奏した曲は、何度か舞台上で演奏している曲だったので、落ち着いて臨むことができました。反省点は多々ありますが、この経験を次の本番に生かしたいと思います。



奥出 容子
(03年・短専修・ピアノ)

矢代秋雄研究成果のバッハ「平均律」本を刊行 大山 秀子さん(82年大専修・ピアノ)

卒業後、故矢代秋雄先生(元東京芸術大学教授)から数年間、楽曲分析を学ばせていただきました。当時、ヤマハ音楽教室研究コースに在籍していた私たちに、平均律をあらゆる角度から考察した分析、演奏のレッスンをしてくださいましたが、先生は残念ながら急逝されてしまいました。33回回のときに、先生から教わったこと、先生が研究されたことを次代に伝えたいという願いと責任を感じ、坂弘子先生(ヤマハの私たちの先生)を中心に「バッハプロジェクト」を立ち上げ、4年余りの研究の末、このたびようやく本にすることができました。学習者に分かりやすいように分析図なども取り入れ、難解といわれるフーガも大変分かりやすく解説されています。矢代先生の教えを土台に、研究を進めたことを忠実に再現した演奏CD付です。一般販売はしておりませんが、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。

●CDの案内

「平均律クラヴィーア曲集 分析、演奏 I II」
I巻II巻それぞれに分析図付き CD全4枚付き 25000円(税込)
※大阪音楽大学在学生・卒業生の方には特別価格(20000円)でお分けします
お問い合わせ先: Tel / Fax: 028-638-5203,
piano_h_0731@yahoo.co.jp まで



▼昨年の大学祭の様子



11月1(金)〜3(日)に大学祭を行います。今年のテーマは「躍」音楽をくれなきやいたずらするぞっ!」。大学祭を大ハロウィンパーティーにしたいです。



2013年度大学祭 テーマは「躍」音楽をくれなきやいたずらするぞっ!」

コスプレ、飾り付けも全部ハロウィン! かわいいオバケが登場するかも! ザ・カレッジ・オペラハウスで行う学祭プラスや中庭でのステージライブ、模擬店にもご期待ください。



◀アンコールでのパフォーマン스에 客席からも大きな拍手が!



フローラン・エオー & バトリック・ジグマノフスキー 「フランス音楽の夕べ」を開催

クラリネット奏者でフランス国立リュ・エ・ユルマルメゾン音楽院教授のフローラン・エオー氏と本学客員教授であり、パリ・エコールノルマル高等音楽院教授のピアノ奏者バトリック・ジグマノフスキー氏のマスタークラスとミニ・コンサートを6月26日(水)ミレニアムホールで行いました。マスタークラスはクラリネットとピアノを

同時に行うというスタイル・コンサートではアンコール3曲を含め全6曲を披露。クラリネットのパートをひとつずつ外して演奏したり、軽やかなステップしながら吹くなどのパフォーマンスに客席からも大きな拍手が沸き起りました。



▲マスタークラスの様子



シンガポールで吹奏楽支援 「サンデーコンサート」に参加

夏休み等を利用してシンガポールの中高校生たちが毎年研修旅行で日本へ訪れます。大阪音楽大学にもお越しくださいたいですが、音楽博物館の見学などとともに、北野徹教授(打楽器)による吹奏楽のマスタークラスを受講されます。そのつながり今年4月14日、北野教授がシンガポールのエスプラネードシアターにて毎年行われている「サンデーコンサート」にゲスト指揮者として参加。中学・高校の指導者たち

による楽団を指導、指揮しました。「個人的にシンガポールが大好きでたびたび訪れています。本学とても良い交流をさせていたいただいて、その関係で今回実現しました。シンガポールは吹奏楽がとてもさかん。政府が支援しており、吹奏楽専門の指導者が各各学校に配置されています。私もこのような活動を続けていきたいと思っています(北野)」。



▶サンデーコンサートの様子



チャリティーコンサートを開催 「関西音楽人のちから」 約1500万円を被災地に寄付

卒業生で指揮者の井村誠貴さん(94年大卒)コントラバス)が実行委員長となつて今年5月、3回目となる「東日本大震災復興チャリティーコンサート2013音のちから」集「復興のちから」をザ・シンフォニーホールにて行いました。これは2011年、東日本大震災をきっかけに「支援活動がしたい」と同じく指揮者の牧村邦彦さん(ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者)らに声をかけ、知り合いの音楽家たちの協力を得て実現させたもの。演奏者スタッフ総勢311名の参加者は一律5000円の義援金とチケット4枚(8000円)の販売が条件。当日のお客さまのチケット代金と義援金企業からの協賛金など合わせて564万4231円が集まり、全額を宮城県石巻市に寄付しました。

「震災直後は「こんな時に音楽なんて」という想いも強かったのですが、徐々に「こんな時だからこそ音楽を」という気持ちに変わっていききました。結果、こんなにもたくさんの方々の演奏者の方々に賛同いただき関西音楽人の底力を実感するとともに感謝の気持ちでいっぱいです。被害の大きかった石巻へ限定して寄付させていただこうと思つたのは、以前、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団が石巻に被災地支援演奏に行つたことが縁で、現地の森俊英先生(元石巻市立蛇田中学校長)を紹介していただいたことがきっかけです。石巻市の亀山市長と境教育長に直接お会いし「未来の子どもたちのために使ってほしい」とお願いしました。今年も被災地を訪れましたが、まだまだ復興とは言いがたい光景を目にし衝撃を受けました。僕たちの「音楽をすることで支援をしていきたい」という気持ちも少しでも力になれば(井村)」

2011年の第1回目は日本赤十字に430万31円、翌年の第2回目は石巻へ524万2154円を集めており、3回で計1518万6416円を寄付されています。第5回までは行うことを決めており、その後も継続を希望しているということです。



▲左より境教育長、森俊英さん、井村誠貴さん夫妻、亀山市長、牧村邦彦さん夫妻

▼プログラムにも使われている「集」の文字はよく見ると「ふっこうのちから」という字でできている。井村さん作



中村理事長推薦!

大音生なら必ず聴きたい 100曲



第1回 今回のテーマ バロックの時代

文 中村 孝義(音楽学・理事長)

数え切れないほどの作曲家が登場

今回はドイツのバロック音楽についてですが、あまり風呂敷を広げ過ぎると、とても100曲には収まりませんので、あえて大バッハ (J.S. バッハ:1685~1750) の作品に絞ることにしましょう。

バッハの偉大さについては、ここでこと細かく述べる必要もないでしょう。バッハは「小川ではなく大海である」という言葉が示すように、彼の音楽にはそれまでの西洋音楽のエッセンスがすべて流れ込んでいると同時に、彼以後の音楽は彼の音楽から大きな影響を受けました。私は今から44年前 (1969年)に、大阪のフェスティバルホール (旧)で、カール・リヒターが指揮する「マタイ受難曲」や「口短調ミサ曲」を聴き、まさに言葉では言い表せないような深い感動を体験しました。そして後年ドイツ留学時代に、彼地で聴くこれらの作品の意味が、さまざまな環

境的条件 (気候風土、言語、宗教など)も相まって、とてつもなく大きいものであることを徹底して知らしめられました。これらの経験が、今なお音楽の持つ力や意味について考える大きな支えになっています。いずれも長大な曲ですが、彼の音楽芸術の在り方や素晴らしさ、さまざまな要素を知ることができる必須の名曲です。西洋音楽をする者なら、ぜひ一度真剣に向き合ってください。

あと3つは器楽作品を挙げておきましょう。いずれも単独の楽器のためのもの、一つは「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとバルティータ」、もう一つは「無伴奏チェロのための組曲」、そして最後は「平均律クラヴィーア曲集」です。ここには「楽器に何ができるか」という究極の姿が示されており、今なおこれらのジャンルでこれらを越える作品はありません。

今回の推薦曲

- マタイ受難曲:カール・リヒター指揮
ミュンヘン・J.S. バッハ管弦楽団、合唱団
[◎:CDF30-II]
- 口短調ミサ曲:同上
[◎:CDS24-V]
- 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとバルティータ ナタン・ミルシュタイン、ヘンリック・シェリング
ヨーゼフ・シゲティ [◎:CPP51-III]
クレームル [◎:CDC1-I]
- 無伴奏チェロのための組曲
シュタルケル [◎:CDF16-I]
カザルス [◎:CDN33-II]
- 平均律クラヴィーア曲集
スピヤトスラフ・リヒテル [◎:CDA15-III]
グールド [◎:CDA16-III]

※◎は図書館請求番号を表しています

研究室訪問

普段はなかなか入ることのできない先生の研究室におじゃまします!

今回お訪ねしたのは……

駒井 肇 教授
(担当科目:ソルフェージュ、視奏)H号館217号室



▲書類山積みデスク。「これでもだいぶ片付けた(笑)」
ドアには東京の地下鉄路線図「複雑だからね」

関西は見どころ満載! 関東育ちの僕が今ハマっていること

大阪音楽大学に来て今年で23年目。現在は短大のソルフェージュ教育主任、そして7年前から短大教育部長を担っています。主に授業の準備や事務的な仕事を行っているこの研究室には、普段学生が入りしなないので、現在はほとんど物置と化しています。写真には写っていませんが楽譜や本、書類などが山積み。何とか退職するまでには片付きます(笑)。「ソルフェージュ」は音大生にとって欠かせません。「楽譜を正確に読む」「音を聴き譜面に書き取る」ことは音楽を勉強する人にとって大切な要素ですが、さらに重要なことはその先の「楽譜から作曲家のメッセージを読み取り、音楽を表現すること」です。いつもそのことを意識し、授業に臨んでいます。

出身は神奈川県川崎市。関西に来るまでの主な活動範囲は、東京都内や横浜

周辺でした。美術の展覧会や遺跡など歴史の舞台を歩くのが好きで、大河ドラマ「龍馬伝」の年には京都の伏見などを見て歩きました。関東育ちの僕は、大音に来るまで関西は修学旅行でしか知らなかった。奈良時代から幕末まで歴史の舞台となった関西は見どころ満載。美術は全くの素人ながら、「ポストン美術館展〜日本美術の至宝」を見てから江戸期の絵画のおもしろさにも開眼。やはり本物を見ると活性化され、作曲や仕事にも良い刺激になりますね。今年は、3月に三谷幸喜の『ホロヴィッツとの対話』というお芝居を見に行ってから舞台にもはまっています。今年は市川猿之助助産名披露の歌舞伎に行く予定。あと前売り券を購入済みの展覧会が2つ、それからプロ野球も。たまには演奏会にも行かないとね……(笑)。

宝塚市の観光大使リボンの騎士「サファイア」に上願由佳さん短2ミュージカルが選ばれました。3度の選考を経て34人の中から選ばれた2人のうちの1人。名刺の渡し方などのマナー研修や市内研修などを受けたあと6月23日に阪神競馬場で行われたGレース「宝塚記念」のプレゼンターが初仕事となりました。「幼い頃から宝塚歌劇と宝塚の街が大好き。選ばれた時は本当に嬉しくて信じられない気持ちでした。観光大使として宝塚の良いところ

をもっともっと皆さんに知ってもらえるよう頑張ります。学生としては卒業まであと数ヶ月。歌とダンスが大好きで、大学での毎日が本当に楽しく充実しています」
来年は宝塚歌劇100周年、市立手塚治虫記念館20周年、市制60周年が重なる年。上願さんは1年間、さまざまなイベントに出演するなど宝塚市のPR活動に活躍する予定です。



▲右が上願由佳さん ▲阪神競馬場にて

お知らせ

宝塚観光大使リボンの騎士「サファイア」ミュージカル・コースの上願由佳さん

Daion Report ~海外見聞録~

学生が見た! 聞いた! 海外体験をお送りします。

福西 由記さん(大3・ピアノ)

パリでの演奏と刺激的な毎日

アルバイト先でお誘いいただき、7月4~7日にかけてフランス・パリで開催している「JAPAN EXPO 2013」に参加し、ピアノを弾く機会をいただきました。会場内に設置された日本文化パビリオン「Japan Moment」の「WabiSabi ステージ」や「文化ステージ」において、C.ドビュッシーの「亜麻色の乙女」や平井康三郎の「さくらさくら幻想曲」などを演奏。驚くほど大勢のお客さまに埋め尽くされた会場での演奏は大変緊張しましたが、無事に終えることができ、とても素晴らしい経験になりました。

フランス語がまだまだ話せない私にとって、生活面でも緊張の連続。例えば食事の時にコーヒーを注文したかったのですが、英語で言っても全く通じません。どうしたらいいか困っていたところ、なぜか「アメリカン」と言ったら通じたという不思議なエピソードも。また自由時間も少しあったので、エッフェル塔や凱旋門、オペラ座などを見学しました。日本の建築物とは全く違う重厚でシックな風合いがとても印象的です。ノートルダム寺院ではミサが開かれており、その厳肅な雰囲気は生まれて初めて感じるものでした。

普段はのんびり屋の私なので、こんなに刺激的な毎日は感動の連続。パリでの過密なスケジュールをこなしたことで、人間的にも少しは成長できたのではないかと思います。またぜひ、パリを訪れてみたいと思っています。



凱旋門に来ました!



ステージにて、たくさんのお客さまに見守られています



こんな大きなステージで、一人っきりの演奏

お知らせ

大阪音楽大学オリジナルグッズ新アイテムが加わりました

大阪音楽大学のオリジナルグッズに新アイテムが加わりました。楽譜がすっきり収納でき、横型になってさらに持ちやすくなった「トートバッグ」(税込1260円)。「すっきりスリム」で3色のカラーが揃った「スリムステンレススタンプラー」(税込840円)。「鉛筆とシャープペンシルのいいことどり」音符が書きやすい「楽譜シャープペン」(税込420円)。オリジナルグッズは大学正門前のヤマハ売店、ヤマハ心齋橋店、ヤマハ千里店、また大学HPでも購入できます。トップページより「学校概要」→「広報」→「大学オリジナルグッズ」をご覧ください。



▲左から、トートバッグ、スリムステンレススタンプラー、楽譜シャープペン



6月13日(木)、2013年度大阪音楽大学給付奨学制度給付奨学金の給付式が、大音大学ホールにて行われました。

奨学制度 給付奨学金 給付決定 給付式

6月13日(木)、2013年度大阪音楽大学給付奨学制度給付奨学金の給付式が、大音大学ホールにて行われました。式が行われ、決定通知書授与されました。この度は、学生の皆様の勉学の積極的な成果を賞賛するものです。

- 大学
- 奨学金 A 井上 千尋(2年・演特ピアノ)、堀 志帆(3年・音楽学)、佐藤 亜衣(4年・演特ピアノ)
 - 同 B 松山 美穂、水谷 友彦(以上2年・演特ピアノ)、熊野 愛美(3年・ピアノ)、池田 佑香(3年・演特ピアノ)、孫 勇太(4年・声楽)
 - 同 C 野口 智未(2年・ピアノ)、糸川 恵里香、西村 結奈、津田 裕貴(以上2年・管楽器)、高田 隼、瀧本 晴香、松井 彩奈(以上3年・ピアノ)、澤田 奈津季(3年・演特ピアノ)、梶 愛未、野村 有理(4年・ピアノ)、西根 里絵、八塚 真秀(4年・演特ピアノ)

- 短大
- 奨学金 C 武政 文恵、三品 響子(以上2年・声楽)

- 専攻科
- 大谷 知美(大学・ピアノ)、前富 秀介(大学・管楽器)、須並 里紗(短大・ピアノ)

- 大学院
- 矢野 文香(2年・オペラ)、杉本 友樹(2年・作曲)、廣瀬 恵里花(2年・オペラ)

- 国内海外音楽講座
- 山下 真理奈(3年・管楽器)、岸本 紗耶(4年・ピアノ)、由利 友樹子(4年・管楽器)

08年~10年にかけて、ロイヤルチェンバーオーケストラを率いて全国各地で数々の公演を成功させた本学卒業生で指揮者の西本智実さんが、このたびロイヤルチェンバーオーケストラの音楽監督・首席指揮者に就任が決定しました。このオーケストラは87年に皇太子殿下を楽団長として結成された「祥室内管弦楽団」を前身とし、91年に結成され、すでに10枚以上のCDをリリースしています。西本さんの就任記念の特別演奏会が行われます。



© 鍋島徳泰

お知らせ

ロイヤルチェンバーオーケストラ 西本智実さんが音楽監督・首席指揮者に就任

演奏会やオペラなど、大音関連の魅力的なイベントを紹介します。

演奏会 Information



9月 12月

●=出演者 □=場所 ⊕=入場料 ⊖=問い合わせ先

OH=ザ・カレッジ・オペラハウス MH=ミレニアムホール

大阪音楽大学主催公演

第4回 ミレニアムピアノコンサート

9/26(木)17:00～
⊕富樫 三起子、小川 裕子 □MH ⊖無料

豊中こども音楽フェスティバル

9/29(日)14:00～ □OH
⊕豊中市内の小・中・高校生 他 ⊖無料(要整理券)

AUTUMN JAZZ NIGHT

10/4(金)15:00～ □豊中市立ローズ文化ホール
⊕河村直樹、河村英樹、木畑晴哉、木村知之、東 敏之
⊖1000円、高校生以下無料

第5回 ミレニアムピアノコンサート

10/10(木)17:00～
⊕木村 直美、末岡 智子、鳥居 知行 □MH ⊖無料

オスカー・エスピナルイス クラリネット

レクチャー・コンサート 10/11(金)18:00～
□大阪音楽大学F号館434教室 ⊖無料(要事前申込)

第50回オペラ公演 20世紀オペラ・シリーズ

「ビター・グラ임ズ」
10/12(金)17:00～、10/14(月・祝)14:00～
⊕指揮:高関 健、演出:中村 敬一、ビター・グラ임ズ、
小餅谷 哲男、エレン・オーフォード:平野 雅世、
バルストロード船長:樹 貴志 他 □OH
⊖一般7000円、シルバー6000円、小中・高校生3000円

第38回 ミレニアム・スチューデント・コンサート

10/16(水)、10/17(木)、10/18(金)18:00～
□MH ⊖無料(要整理券)

ザ・ストリング・コンサート 10/27(日)14:00～

⊕弦楽器専攻生 □MH ⊖無料(要整理券)

大阪音楽大学音楽学部

～2012年度最優秀賞受賞者演奏会～

第10回 ザ・ローレル・コンサート

10/30(水)18:00～ □OH ⊖1000円

大阪音楽大学大学院定期演奏会2013

11/5(火)18:00～
⊕大阪音楽大学大学院生による演奏会
□OH ⊖1000円

第39回 ミレニアム・スチューデント・コンサート

11/7(木)、11/8(金)、11/11(月)18:00～
⊕選抜学生 □MH ⊖無料(要整理券)

第6回 ミレニアムピアノコンサート

11/12(火)17:00～
⊕篠原 理恵、大竹 道哉 □MH ⊖無料

第25回 ザ・コンチェルト・コンサート

11/14(木)18:00～
⊕選抜学生による協奏曲演奏会 □OH ⊖1000円

作曲特別演奏会 11/16(土)17:00～

□MH ⊖1000円

第24回 ザ・カレッジ・コンサート 11/18(月)18:00～

⊕選抜学生によるジョイント・リサイタル
□MH ⊖1000円

第36回 邦楽演奏会 11/29(金)18:00～

⊕邦楽専攻生、邦楽コース在学、邦楽担当教員
□MH ⊖1000円

大阪音楽大学 第56回 定期演奏会 12/7(土)18:00～

⊕大阪音楽大学管弦楽団
□ザ・シンフォニーホール ⊖1000円

第7回 ミレニアムピアノコンサート

12/12(木)17:00～ ⊕未定 □MH ⊖無料

問い合わせ

大阪音楽大学コンサート・センター
TEL:06-6334-2242 <http://daion.ac.jp>

学生自主演奏会

演奏会形式ミュージカル「ミゼラブル」
9/20(金)17:30～、9/21(土)15:00～

⊕大音レミゼ制作委員会2013 □OH ⊖2000円
✉anna19920428@gmail.com(吉野)

トランペットアンサンブル第15回定期演奏会

11/30(土)18:30～
⊕大阪音楽大学トランペット専攻生 □OH
⊖500円 ⊖090-5098-1343(川原)

Message

アルルの女はトランペット専攻生が編曲を担当し、そのほかの選曲、演出や運営も、先生の力をお借りしながら学生で行っています。15年目という記念すべき年にふさわしい演奏会をお届けできるように、学生一同日々努力しております。

第24回大阪音楽大学

クラリネットオーケストラ演奏会

12/17(火)19:00～
⊕大阪音楽大学クラリネット専攻生
⊕いずみホール ⊖1000円
✉clarinetorchestraosaka@yahoo.co.jp(吉見)

Message

「専門合奏」を受講するクラリネット専攻生による演奏会です。クラリネット約50本という、関西圏では類を見ない大規模なアンサンブル。出演者一同心を一つにして演奏します。是非ご来場ください。

大阪音楽大学後援演奏会

バリアフリーコンサート

～クラリネットバイエル～ Vol.31

9/23(月・祝)15:00～
⊕クラリネット アンサンブルボワン、林 誠、
木村 孝夫、阪本 朋子、石原 光世 他
⊕茨木市クリエイティブセンター(センターホール)
⊖1500円、ペア2500円(当日2000円/3000円)
✉072-622-9928(バリアフリーコンサート企画)

マリエッラ・デヴィア公開レッスン

9/28(土)13:00～ □大阪市中央公会堂中集会室
9/29(日)13:00～
⊕兵庫県立芸術文化センター小ホール
⊕尾崎 比佐子、吉田 早夜夢、林 佑子 他
⊖2500円(当日3000円)
✉075-662-1613(イタリア声楽協会 四ツ谷)

OFF! ～はじめての出会い～

10/6(日)14:00～
⊕大谷 志穂、加藤 かおり、橋田 波子
⊕ノア・アコルデ音楽アートサロン ⊖500円
✉080-5362-6352(加藤)

柿原 宗雅 ピアノリサイタル 10/11(金)19:00～

⊕兵庫県立芸術文化センター小ホール ⊖3500円
✉06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

北野徹とパーカッショングループ大阪による

打楽器オーケストラ演奏会 10/15(火)19:00～
⊕いずみホール ⊖3500円(当日4000円)
✉06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

青井 彰ピアノリサイタル 10/18(金)18:45～

⊕兵庫県立芸術文化センター小ホール
⊖2500円(当日3000円)
✉0120-961-891(ISOコンサート企画係)

松永京子&次郎丸智希デュオコンサートVol.2

～夏から秋へ～ 10/20(日)17:00～
⊕トントレフ・ヒコ ⊖2000円
✉080-3118-2321(duo-jiromatsu)

第46回現代音楽作品の夕べ 10/26(土)16:30～

⊕作曲:和泉 耕二、大澤 弘之、中澤 道子、岡田 正昭 他
⊕トントレフ・ヒコ ⊖一般3000円(学生2500円)
✉080-3038-8721(大澤)

星賀親子ピアノリサイタル 10/27(日)15:00～

⊕イシハラホール ⊖3000円(当日3500円)
✉06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

ルカ・フランツェッティ&

アンサンブル・サビーナ コンサート

11/1(金)19:00～
⊕池田市民文化会館アゼリアホール(大ホール)
⊖一般2500円、高校生以下1500円(当日3000円/2000円)
✉06-6844-8787(イタリア生活文化交流協会)

第4回 茨木新作音楽展 11/2(土)、11/3(日)16:00～

⊕作曲:駒井 肇、高 昌帥、八田 京子、熊谷 美紀、
岡田 正昭、大澤 弘之、中澤 道子 他
⊕茨木市クリエイティブセンター(センターホール)
⊖一般2500円、学生1500円 ✉090-3914-3560(駒井)

油井美加子ピアノリサイタル 11/6(水)19:00～

⊕兵庫県立芸術文化センター小ホール
⊖3500円 ✉06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

宇野宏美メゾソプラノリサイタル

11/24(日)15:00～ ⊕宇野 宏美、高垣 節(P)
□イシハラホール ⊖3000円(当日3500円)
✉06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

末岡智子 ピアノリサイタル 11/28(木)19:00～

⊕イシハラホール ⊖3000円(当日3500円)
✉06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

大阪ゲヴァントハウス合唱団第21回定期演奏会

11/30(土)15:00～ ⊕いずみホール ⊖3500円
✉tmyk.kantagiri@iris.eonet.ne.jp(片桐)

幸楽会後援演奏会

日本のこころ歌う会in秋色コンサート

9/28(日)14:00～
⊕リヒャルト・フランク、大峰 かず子
⊕高槻市生涯学習センター多目的ホール
⊖一般2000円、小・中学生800円(当日2500円/1200円)
✉050-3324-6802(コバヤシ)

第3回日本の心を歌う 9/28(土)18:30～

⊕泉 功子、井村 美代子、田中 昌子、土井 典子、
中井 理映子、竹村 美和子
⊕阿倍野区民センター小ホール ⊖2500円
✉06-6445-2752(イムジカ)

アウローラ～2013

3人のソプラノとピアノが描くCosi fan tutte
10/3(木)19:00～
□札幌市時計台ホール ⊖1000円
11/16(土)14:00～
□紀尾井町サロンホール(東京) ⊖2000円
⊕結城 麻子、満田 早穂星、和田 陽惠、香川 紀惠
✉050-3396-2194(アウローラ)

橋本佳代子ピアノリサイタル

10/6(日)14:00～
□イシハラホール ⊖2500円(当日3000円)
✉0797-84-5952(有限会社ラッド・サウンド)

中井 麗雅 バリトンリサイタル

10/14(月・祝)15:00～ □イシハラホール
⊖4000円 ✉06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

ヴェネルディ女声合唱団 The First Concert

10/19(土)14:00～
⊕兵庫県立芸術文化センター小ホール
⊖無料(要整理券) ✉0798-20-7421(三好)

西田歩美サクソフォンコンサート

10/20(日)14:30～ □音楽ホール「奏美」
⊖一般2500円、学生1500円(当日3000円/2000円)
✉077-524-2334(音楽ホール「奏美」)

古楽アンサンブル 風葉華心 Concert Vol.7

11/9(土)15:00～
⊕鳥之内教会 ⊖3500円(当日4000円)
✉072-638-4770(月岡)

バロック音楽の愉しみ

12/1(日)14:00～
⊕水越 美鈴、西村 喜子、青木 好美
⊕みつなかホール ⊖一般2700円、高校生以下
1000円(当日3000円/1000円)
✉mizu4285@ac.auone-net.jp

栢本 淑子 ソプラノリサイタル

12/4(水)19:00～
⊕いずみホール ⊖7000円
✉06-6943-1891(N P O 法人関西芸術振興会)

進野 裕代 ピアノリサイタル

12/8(日)14:00～ □世良美術館 ⊖2000円
✉078-822-6456(世良美術館)

「好きなことを仕事にする」なんて夢のまた夢？ いえいえそんなことはありません。音楽を仕事にしたい方、「音楽教室の講師」は選択肢のひとつです。少しでも考えている方やそうでない方へもおすすめの講座をご紹介します。

音楽教室の講師を目指す方、必見です

学生の皆さんは卒業後の進路として「教師」を目指す方も多いと思います。学校の先生だけでなく、街には数多くの音楽教室があり、子どもから大人までたくさんの生徒が通っています。そんな音楽教室の講師を目指す方へおすすめの講座が、ここ数年毎年恒例となった「音楽教室how-toセミナー」。今年も開講が決定しました。講師は「ワタベ楽器店」の川口伸さん。川口さんは楽器店で調律師をされている方ですが、長年多くの音楽教室講師の方と一緒に仕事をされている経験から「魅力的な先生とは？」「先生に必要な要素は？」「今から準備できることは？」など現場にいないければ分からないさまざまな役立つ情報を伝授して下さる予定です。興味のある方はぜひ、お誘い合わせの上ご参加ください。

- 日時:10月22日(火)、25日(金) 17:00～(両日とも同じ内容です)
- 会場:F号館110号室
- 受講料:無料



▲音楽教室how-toセミナーの様子

▶講師の川口伸さん

申込は不要。当日会場に直接お越しください



キャリア支援センター 岩崎 慎也

編集後記 次号は12月16日発行予定です。大阪音楽大学のHPにお宝映像がUPされているのをご存知ですか？なんと昭和33年に制作された「大学昇格記念式典」「学長胸像除幕式」「大阪音楽大学プロモーション映像」の3本。特に「プロモーション映像」はカラーで撮影されていて、当時の校舎や授業の様子が伝わってきます。個人的には阪急電車600系車両が現役で活躍している映像に感動！トップページ右にある紫色の100周年バナーをクリックしてみてください。(は)

学校法人 大阪音楽大学広報誌「Muse」 vol.227
2013年9月17日発行
●発行:学校法人 大阪音楽大学
〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8
TEL:06-6334-2904 FAX:06-6334-2141
http://daion.ac.jp
●制作・編集:広報室 muse@daion.ac.jp
●デザイン協力:(株)産業編集センター

CAMPUS

学内の各部門・施設から、学生生活に役立つ情報をお届けします。

Information

学生支援センター

「挑戦する人」をサポートします。

「参加奨励金」制度が始まりました！

今年4月より国内外の音楽コンクールを受ける方に対する「参加奨励金」制度が始まりました。いくつかの条件はありますが、コンクールを受けるにあたり10000円の奨励金を受けることができます。もちろん入賞した場合の奨励金制度と合わせて受けることもできます。

自分の可能性をさらに広げ、飛躍するチャンスとなるコンクール。参加費や会場までの交通費などなにかと費用がかかってしまうことで迷っている方にもチャンスが

広がりました。学生の皆さん、この制度を大いに活用してください。

手続き方法

- ①コンクール参加費納入後、1カ月以内に「奨励金願書」(領収書のコピーを添付)を提出
- ②成績証明書の提出(当該前 Semester GPA2.5以上、取得単位数12単位以上が必要。1年生の前期は不要)※当該年度1回のみです。

学生支援センター 池尻 純子



大いに活用ください！

連携支援センター

オペラ物知り講座

第3回「オーボエの哀愁の音色が人間の心の叫びを伝えます」

日時:10月29日(火) 18:30～20:30(18:00開場)
場所:ミレニアムホール 受講料:1回1000円 構成:中村 敬一
演奏:佛田 明希子(Hr)、平野 雅世(Sop)、谷 浩一郎(Ten)、關口 康祐(Pf)



ミレニアムホール特別講座～レクチャー・コンサート～

第53回「ドビュッシー(仏)とヴェルディ(伊)でアルプスを越えた姉弟・愛のアンサンブル」

日時:12月14日(土)14:00～16:00(13:30開場)
場所:ミレニアムホール 受講料:1回1000円
プロデュース・司会:日下部 吉彦
演奏:油井 美加子(Pf)、油井 宏隆(Br)



お問い合わせ | 大阪音楽大学 連携支援センター
TEL 06-6334-2249 FAX 06-6335-2153 E-mail: renkei@daion.ac.jp

大阪音楽大学開放講座「音楽・心の旅27」

- 「世界の楽器 雨も風も……自然とのおもしろい関係」
日時:11月12日(火) 14:00～15:30(13:30開場)
場所:豊中市立千里公民館 受講料:無料 講師:塩津 洋子
- 「ミュージカルの楽しみ方を見つけよう」～ミュージカル・ナンバーは情感の宝庫～
日時:11月26日(火) 18:30～20:00(18:00開場)
場所:豊中市立中央公民館 受講料:無料
講師・演奏:松田 ひろ子(歌) 演奏:七ツ谷 ゆみ(Pf)



お問い合わせ | 豊中市立中央公民館 TEL 06-6866-0555※10月8日(火)10:00より受付開始

けやきの森市民大学 大阪音楽大学公開講座 レクチャーコンサート「音楽の宝石箱」

- 「リコーダーってすごい!」～こんなにリコーダーが聴きたかった～
10月11日(金)
講師・演奏:北山 隆(Rec) 演奏:村上 優子(Pf) 他
- 「ヴェルディ生誕200年記念レクチャー」～芸術家ヴェルディの今昔～
10月18日(金)
講師・演奏:田中 勉(Br) 演奏:廣瀬 恵里花(Sop)、木戸 健太(Bs)、原 真奈美(Pf)
- 「リスト演奏の世界事情」～古今東西のピアニストによる様々なパフォーマンス～
10月25日(金)
講師・演奏:小杉 裕一(Pf)
- 「トランペットで綴るジャズの歴史」 11月8日(金)
講師・演奏:河村 直樹(Tp) 演奏:石田 ヒロキ(Pf)、宮野 友巴(Bs)、塩入 基弘(Drs)
- 「雅楽」～個性ある音色を奏でる楽器たち～ 11月15日(金)
講師:林 絹代 演奏:大阪音楽大学学生 他 場所:高槻市立生涯学習センター 2階多目的ホール
場所:高槻市立生涯学習センター 2階多目的ホール
時間:14:00～15:30(13:30開場)

お問い合わせ | 高槻市立生涯学習センター TEL 072-674-7700



文・イラスト 武藤 好男

始めよければすべてよし。 ベートーヴェンは 「つかみ」の天才か？

時間芸術である音楽の形式は、記憶の中に成立します。ABAという三部形式は、最初のAを覚えているからこそ成立するのであって、音楽では最初に出てくる大切なものは繰り返されます。ベートーヴェンの「運命」の冒頭、ソソソミー（ダダダダーンやジャジャジャジャーンのほうが分かりやすいのですが、ここは音楽大学です）は、二度低くファファファレーと反復されます。その後ソソソミ／ラララソ／ミミミドーと発展し、さらにソソソレ／ラララソ／ファファファレーと少し変化して反復され、ソソファミ／ミファミソをまた反復、そして締めに入りソソファミ、ド、ソーで半終止します。これが第1主題。21小節あります。そのうちの13小節が〈ダダダダ〉で5小節が〈ダーン〉です。それ以外は締めの3小節のみ。すごいですね、まともな旋律などどこにもありません。ベートーヴェンはこのたった一つの動機から4楽章の交響曲を組み立て（compose）ました。特に第1楽章はこの動機で埋め尽くされています。ちょっと

ばかりメロディックな第2主題の裏でも、ほらダダダダーのリズムが鳴っています。この緊密な構成は本当に感動的ですが、この有機的構成方法が、後に続くすべての作曲家（composer）を呪縛することになります。まさにベートーヴェンの呪いです。

「運命」がクラシック音楽の象徴にまでなったのは、この冒頭動機のユニークさにあります。この始まりでなかったら、ここまで有名にはならなかったでしょう。「運命はこのように扉を叩く」と言ったというのは眉唾物ですが、ぶっさらばうなこの動機を二度繰り返す、そしてその間にフェルマータを入れて断絶させたところに、ベートーヴェンのすごさが集約されています（何がすごいかはこのスペースではとても書ききれないので考えてみてください）。

というわけで、今回はえらくまとも内容になってしまいました（反省！）。蛇足ですが「運命」は通称で、正確には「交響曲第5番ハ短調作品67」。百聞は一聴に如かず、この曲を知らない人はいないと思いますが、ぜひもう一度意識して聴いてみてください。好き嫌いは別にして本当にすごい作品です。ところで、私の専門が作曲だと皆さん知ってました？



よねやま しん ● 廃校になってしまった附属高校出身。自然と虫や動物の観察を好み、保健室の横でヤモリと出会う。世界は出会いに満ちていると信じている。

楽譜は「氷山の一角」 目に見えない世界が音楽を支えているのです

ピアノ・教授 米山 信

教 員
リ レ
エ ッ セ イ
Vol.9

今回は豊富な経験と知識をお持ちの高橋 徹先生(教養教育)にゆだねます



か ぼちゃの苗を植えました。写真のように順調に生育しています。土の下に隠れた目に見えない部分には、かぼちゃを支えている根があります。土の中には、かぼちゃの成長に欠かせないすべてのものが備えられています。これらは普段私たちの目に触れることはありません。しかし、この不可視のものが目に見える部分を支えているのです。私たちは「これは氷山の一角に過ぎない」という表現を知っています。この例えは、氷山の見える部分を支えているのは隠れた9/10であって、見える部分は1/10に過ぎないという事実を示しています。そしてこの逆転はあり得ません。それは、ピラミッドを逆さまに建築することが不可能であることと同じでしょう。私たちが目にする世界は見え通りの形態をしています。その向こう側には私たちの知り得ない形而上の世界が存在します。つまり見える世界は一部分に過ぎず、見えない世界は外側の姿に比べて「氷山」に見られるように遥かに深く広いのです。音楽を含む芸術や哲学、宗教はこの世界に属しています。私たちが学んでいる音楽について考えてみま

しょう。氷山に例えてみると、楽譜に書かれていることに置き換えるだけでは、自分自身だけでなく人を感動させる音楽にならないことは誰でも知っています。なぜでしょうか？ 楽譜はまさに「氷山の一角」に過ぎないからです。見える楽譜を支えている隠された世界をどれだけ深く掘り下げることができるかが音楽の質を決定するのです。見える世界は見えない世界によって支えられていると、「星の王子さま」の作者サン・テグジュペリや「果てしない物語」「モモ」の作者ミヒヤエル・エンデルがその作品の中でこのことを明らかに記しています。「本当に大事なものは目には見えないんだよ」「見えない世界が失われると、見える世界も同時に意味を失うのです」さて、かぼちゃはうまくで



我が家の畑のかぼちゃは順調に育っています。さて土の中はいったい……!?